

フライト技術と空の知識を競う 競技の世界 Paragliding Hanggliding Competition

飛ぶだけでも楽しいパラグライダー・ハングライダーには、いろいろな競技種目があります。競うのは、ゴールまでのスピードや到達距離、滞空時間の長さ、着地の正確さ、曲芸飛行の技を競うなど。初級者が参加できるものから、国の代表選手だけが出場できる選手権まで、さまざまな競技会が開かれています。

競技会では、愛好家のフライト技術を競います。空と一体となっておこなわれるこの競技は、大変雄大なものです。あらゆるスポーツ競技同様、勝者は讃えられ、そして観るものに感動を与えてくれます。

パラグライダーやハングライダーの場合、機材が大きなウエイトを占めます。競技会を通じて、新しい翼の研究や安全に関するノウハウが蓄積され、このスポーツの発展に寄与します。

競技会は、パラグライダーやハングライダーを社会にアピールする役も担っています。このスポーツの盛んな地域では、関係者が自治体や地域の人々の協力を得て競技会を開き、愛好者の楽しみのためだけでなく、テレビ・新聞等を通してより多くの人に飛行の魅力を伝え、空のスポーツへの理解を深めてもらおうと努力しています。自治体と愛好者が手を携え、国民体育大会の「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」への参加も続いており、今後、このスポーツへの理解はさらに深まっていくことでしょう。また近年、パラグライダーで着地の正確さを競うアキュラシーや、エアロバティック（曲芸飛行）など、わかりやすく誰が観ても楽しめる競技種目が世界的に注目されています。日本でもアキュラシーの競技会が開かれるようになり、多くの人びとにスカイスポーツをアピールする機会として期待されています。



パラグライダー・ハングライダーの 競技

クロスカントリーレース

指定されたパイロン（建物、尾根上の小屋などの目印となる場所）をいかに速く廻るかを競い合う競技。どのパイロンをどの順序で通過するかは、大会当日の気象条件によって決まります。パラやハングライダーの基本性能だけでは周回できないので、上昇気流を使い、高度を獲得しながらゴールを目指します。フライトの結果は、GPSに取り込んだ軌跡をコンピューターで解析して行います。



自由飛行が出来るようになれば、競技会に出場できます。指定地を順番に廻り、ゴールへの到達タイムを競うクロスカントリーレース、着地精度を競うアキュラシー競技、アクロバティックの演技を行う競技など、初心者でも気軽に参加できる大会から高度な技術を要する大会が世界各国、日本全国で開催されています。国内では日本選手権をはじめ大小の競技会が、世界選手権は2年に一度開催されます。



アキュラシー

予め指定された着地点にいかに正確に降りられるかを競います。安全な着地が大前提で、お尻をついたり、危険な着地と判断されると減点になります。パラグライダーで行われることが多く、観客が観ていてわかりやすいこともあって注目されてきました。世界選手権も始まり、これからますます発展する競技として注目を浴びています。

エアロバティック

上空でエアロバティック（曲芸）飛行の技を競います。ペアで行うシンクロと個人競技があります。万一失敗しても選手が怪我をしないように、湖や海など水上で競技を行います。観客を魅了するエキサイティングな競技で、2006年には第1回世界選手権も開かれました。



日本で行われた国際大会など >>>

1995年パラグライディング世界選手権

1995年北九州市で、パラグライディング世界選手権が開かれました。世界21ヶ国から男子82名・女子12名が参加しました。

1981年ハンググライディング世界選手権

大分県別府市で行われました。アジアで初めての世界選手権として、大きなニュースになりました。

1992年ハンググライディング女子世界選手権

山形県南陽市で行われました。南陽市スカイレジャー振興協議会は、スカイスポーツへの貢

献が評価され、2006年FAIエアー・スポーツ・メダルを授与されました。

2004年パラグライダーワールドカップIN茨城

2004年には、茨城県筑波山山系でパラグライダーワールドカップが開かれました。FAIのカテゴリ-2大会でもあり、世界から多くも選手が参加しました。

2006年ハンググライディング日本選手権

山形県南陽市の後援の元開催。FAIカテゴリー2大会として開催されました。

2006年パラグライディング日本選手権

静岡県朝霧高原で開催される予定。富士山の裾野で、クロスカントリー競技が行われます。

のじぎく兵庫国体2006

2006年には、兵庫国体のデモスポ競技として、パラグライダー競技が開催されます。種目はアキュラシーとXC競技など。初級者からベテランまでレジャー感覚のイベントです。

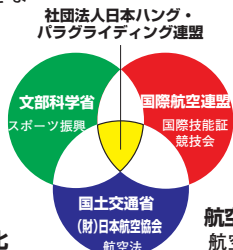
当連盟では、「最も国民に理解されやすいスカイスポーツとして、国体の本競技になることを目指し力をいれています。

社団法人日本ハング・パラグライディング連盟(JHF)とは

社団法人ハング・パラグライディング連盟は、国内唯一の統括団体として、会員制度とライセンス制度を管理・運営し、このスポーツの安全な活動のためにさまざまな活動をしています。インストラクターの育成、登録エリア・スクール制度の整備、競技会の開催や公認活動、保険の整備、事故調査、再発防止対策などの事業を行っています。

文部科学省下で社団化

当連盟は、文部科学省生涯スポーツ課管轄の社団法人として認可され活動して、国民のスポーツ文化振興の一端を担っています。体験学習や国体への参加などの活動を行っています。



国際航空連盟の一員

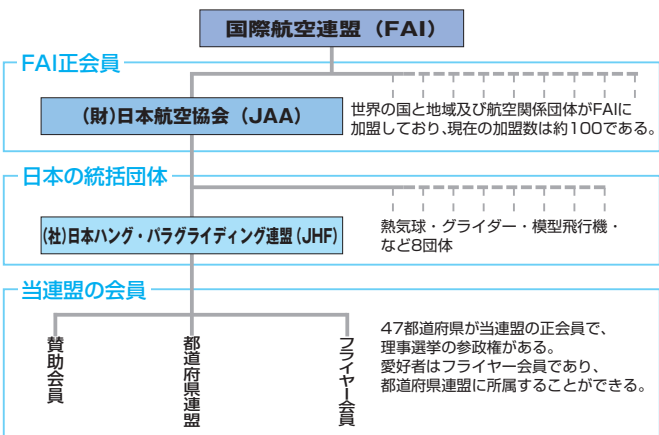
当連盟は、国際航空連盟の正会員である(財)日本航空協会から、日本国内におけるこのスポーツの統括管理を任されています。

当連盟は、日本航空協会や国際航空連盟が公認する日本選手権開催や世界選手権への日本代表選手を派遣する事業の他、国内競技会や飛行記録の後援・公認・開催等の活動を行っています。

航空ルールは国土交通省

航空協会では、国土交通省から、航空ルールを厳守するように要請を受けています。当連盟は、それを受け統括団体として様々な制度を制定し、自主管理でフライトできるように国に働きかけ、現在に至っています。

スカイスポーツの組織



- 1) FAI正会員である(財)日本航空協会は、日本における全航空スポーツ種目を統括し、国内のFAI権限を行使できる。権限とは「世界選手権、国際競技会の開催及び選手派遣」「飛行記録の認定」「国内選手権の公認」などである。
- 2) FAIでは国際的にスカイスポーツを統括管理している。競技ルールの制定や、国際競技会開催や世界記録の承認等を行う。
- 3) (財)日本航空協会が認定する統括団体は、日本国内における当該航空スポーツを統括管理し、各スポーツのFAIの委員会へ航空協会を通して日本代表を派遣しているほか、日本選手権をはじめとした国内競技会を開催できる。

その他の競技団体

パラグライダーワールドカップ協会(PWC)

パラグライダーワールドカップ協会は、フランスを拠点としたFAIから独立した競技団体です。個人参加で世界でも強豪が集まる競技会です。主にパラグライダーメーカーがスポンサーとなっており、毎年ヨーロッパを中心に5回の競技会をおこなっています。2004年に茨城県筑波山系で行われたワールドカップは、当連盟からカテゴリー2申請をおこない国際大会として開催されました。

F1パラグライダー実行委員会

F1パラグライダー実行委員会は、1999年に始まった国内で大会を主におこなう団体です。レジャー感覚で競技を楽しむことに主眼を置いています。パラグライダー輸入業者や自治体などがスポンサーとなって、北海道から九州まで年間約20回競技会をおこなっています。当連盟からは独立した組織ですが、2005年度からは当連盟から[協力の]後援をおこないサポートしています。

パラグライダー・ハンググライダーの主な大会

日本でされる大会

▼パラグライダー

- パラグライディング日本選手権 (JHF主催大会)
- パラグライダー学生選手権 (JHF公認大会)
- パラグライディングジャパンリーグ (JHF公認大会)
- パラグライディングアキュラシーリーグ (JHF公認大会)
- 他 公認大会
- 国体競技 ([協力]後援大会)
- F1 パフォーマンスパラグライダーリーグ ([協力]後援大会)

▼ハンググライダー

- ハンググライディング日本選手権 (JHF主催大会)
- ハンググライディングシリーズ (JHF公認大会)
- クラス5ハンググライディングシリーズ (JHF公認大会)
- ハンググライダー学生選手権 (JHF公認大会)
- 他 公認大会

世界で行われる大会

▼パラグライダー

- 世界選手権 (カテゴリー1 FAI主催)
- 大陸選手権 [ヨーロッパ・アジア選手権など] (カテゴリー1 FAI主催)
- カテゴリー2大会 (FAI公認大会)
- アキュラシー世界選手権 (FAI主催)
- アクロ世界選手権 (FAI主催)
- パラグライディング・ワールドカップ (カテゴリー2 申請も可)

▼ハンググライダー

- 世界選手権 (FAI主催)
- クラス5・女子世界選手権 (FAI主催)

▼パラグライダー・ハンググライダー両方

- ワールドエアゲーム (FAI主催)
- アクロバット世界選手権 (FAI主催)

※FAIの公式大会は、世界選手権や大陸選手権をカテゴリー1、それ以外の大会をカテゴリー2に分類します。カテゴリー2大会は、世界各国で行われるローカルな大会を国際大会として位置づけ、このスポーツの競技活動を推進します。選手には、カテゴリー1, 2の大会に参加することによって、国際ランキングが与えられます。

●当連盟ではパラグライダー、ハンググライダー競技会の誘致活動を行っています。大会運営をサポートいたします。お問い合わせは下記まで。

社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟
<http://jhf.hangpara.or.jp>

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨3-39-4東都ビル2階
 TEL : 03-5961-1388 FAX : 03-5961-1389
 E-mail : info@jhf.hangpara.or.jp



社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟(JHF)